

平成30年(2018年)

2月23日

第26号

躍動

(江東区体育協会だより)

—編集・発行—

江東区体育協会

〒135-8383

江東区東陽4-11-28

江東区スポーツ振興課内

TEL 03-3647-4887

江東区体育協会ホームページ：<http://www.kototaikyo.gr.jp/>

スポーツの振興 発展のために

「新年あいさつ」

副会長 夏見 定雄

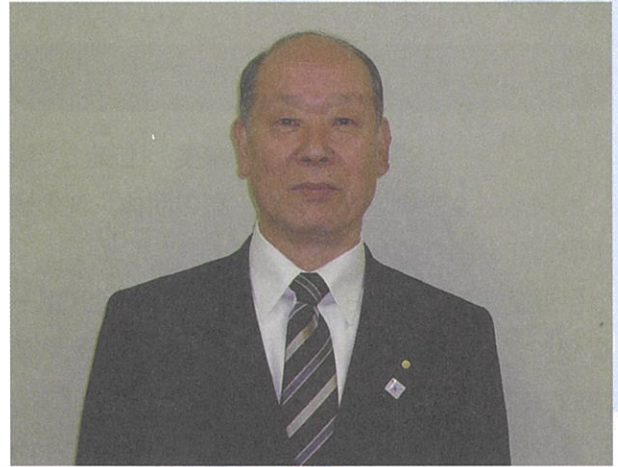
新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年の各連盟、協会の皆様のご活躍を顧みますと、都民大会において男子「バドミントン」の優勝をはじめ、7種の競技で入賞を、また、女子においても「なぎなた」の優勝をはじめとする7種目で入賞いたしました。

総合成績では、男子10位、女子3位という成果を収めることが出来ました。また、墨東五区大会等各種大会での活躍ぶりも目覚ましいものがありました。

これも、皆さんの日ごろの鍛錬の成果の賜物と存じます。今年も好成績を心待ちにするとともに、体育協会としても活躍の後押しを行ってまいります。



現在、体育協会においては競技力の向上のみならず、指導者の発掘・育成やジュニア世代の育成など多くの課題に取り組んでおります。2年後に迫りました、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の中心地として、江東区のスポーツ環境が大きく変貌を遂げていく中で、区のスポーツ振興を支える主体の一つとして、大会に向けた気運の醸成にも一層取り組んでまいります。

各連盟・協会の皆様のご理解とご協力を引き続きお願いするとともに、皆様方の益々のご健勝、ご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



2017年各団体活動状況

連盟・協会それぞれの競技等においてチームが丸となって戦い抜き、素晴らしい成果を上げられました。

日頃、各団体の皆さんが活動されている様子などを紹介いたします。

卓球連盟

理事長 山崎 積

墨東五区大会卓球競技では、春の団体、秋の個人戦と年2回行われます。

平成29年6月18日(日)足立区総合スポーツセンターに於いて、平成29年度墨東五区卓球大会(団体戦)が開催されました。

春の団体戦においては、男子チームが数十年ぶりの優勝を成し遂げ、女子チームは三位となったものの、男女のポイントの合計で、江東区チームが三年ぶりに総合優勝を勝取り、輝かしい戦績を残すことが出来ました。

また、平成29年12月17日(日)江戸川区総合体育館に於いて、秋の個人戦が開催されクラス別に分かれて、各区の代表選手が持ち前のパワーを発揮し競い合いました。

本区の選手が1~3位に11名が入賞し、素晴らしい戦績を残しました。今後も卓球愛好者が増え続け、さらにレベルアップも図られていくことでしょう。



「墨東五区大会 総合優勝」



「墨東五区大会 個人入賞者」

バレーボール連盟

会長 飯塚 明

「みんなであつなく」

当連盟は、今年度役員改選で若返りの新体制となりました。チーム構成としては、一般男子16チーム・一般女子11チーム・家庭婦人60チームの合計87チーム構成となっており、総会員数は1,000人超の状況です。年間の試合として一般男子、一般女子は春・秋に区民大会と連盟大会があり、6人制大会と9人制大会を各4回開催しています。

家庭婦人は9人制で、春・秋の区民大会と、連盟主催の部別大会を各2回開催しています。家庭婦人部別大会は入れ替え戦となっており、1部から8部まであり、勝敗により各部2チームが入替えとなる形式です。部別大会の試合に各チームは照準を合わせ日々厳しい練習を行い、上部へ昇格することが、お母さん達の大きな目標であり、毎回熱い試合となっています。



近年チーム数が減少傾向にありますので、指導普及部主催のバレーボール教室を毎年6月から7月に開催し底辺の底上げを行っている状況です。

また、審判部は各チーム審判帯同と小中学校PTAチームの審判技量向上を目的に、講習会を実施し資格認定により、競技大会の充実化を図っています。

今年度（平成29年）の墨東大会は7月9日、足立区で開催され、一般6人制男子・女子、一般9人制男子・女子と、家庭婦人の5競技で行われ、選手達は優勝目指し頑張ってくれましたが、総合優勝は開催区の足立区となり、当区は種目別の優勝も叶わず残念な結果となりました。

輝かしい結果となったのが、全国成年大会男子9人制において、東京都代表として江東区選抜チームが昨年の優勝に引き続き東京代表として出場し、全国大会3位となり、継続した上位獲得を大変嬉しく思っているところです。

2020年、東京オリンピックのバレーボール競技は、江東区有明地区で開催予定ですので、様々な形で協力していきたいと考えております



ダンススポーツ連盟

理事長 津野 光昭

9月24日（日）、平成29年度都民生涯ダンススポーツ大会が、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催されました。午前10時30分から団体戦競技が開始、6月21日の春季都民ダンススポーツ大会17位の雪辱を晴らすべく7組14名一丸となり奮戦した結果、33チーム中5位の好成績を取ることができました。

10月22日（日）、第71回区民体育大会ダンススポーツ大会が、江東区文化センターで開催されました。家族、観客の大きな声援を受け、総勢38名の参加者による熱い戦いの結果、馬場勝角直子組が見事、区長杯優勝に輝きました。





レクリエーション協会

会長代行 野田悦子

人生100年時代を目指して・・・江東区レクリエーション協会は、いくつになっても、心身ともに健康で、元気な社会生活を送ること「健康長寿」を目的に、いろいろなレクリエーション活動を展開しています。



新春恒例の深川七福神めぐり

平成29年度の主な活動は、区民ファミリーキャンプや、亀リンピック、第六砂町小学校の「校庭キャンプ」、それに新春恒例の深川七福神めぐり・・・など。特に深川七福神めぐりは、参加された区民のみなさんに、たいへん喜ばれました。

今後も、各世代にわたるライフスタイルを考えた楽しく魅力あるレクリエーション活動を実施していきます。



区内の史跡を訪ねながらのウォーキング

サッカー連盟

理事長 上田 崇雄

江東区サッカー連盟は昭和42年に創設され、平成17年に50周年を迎えました。この記念すべき年に、文部科学大臣表彰(平成29年度生涯スポーツ優良団体表彰)を授かり、去る10月6日に霞が関で行われた表彰式には、福馬恵美子会長が出席をいたしました。このような晴れがましい賞を頂くことができましたのは、一重に江東区体育協会はじめ、江東区スポーツ振興課、江東区健康スポーツ公社の皆様方の長年にわたるご支援のおかげにほかならず、心から感謝申し上げます。

また、第47回墨東五区サッカー選手権大会が、11月5日～26日までの日程で、夢の島競技場と新砂運動場で開催されました。5年に一度の主管区として、正式種目である一般の部、青少年の部のほか、エキシビジョンゲームである中学生の部、少女の部・女子の部・壮年の部において、大会準備から運営までを、少年サッカー連盟を含む江東区連盟全体で対応し、大きな事故やけがもなく、無事に終わることが出来ました。残念ながら、総合優勝は江戸川区となり、開催区優勝とは成りませんでした。7月に大規模改修工事を終えて、人工芝や夜間照明が整備された新砂運動場の新サッカー場は、他区の皆様からお褒めいただき、また随分うらやましがられることとなりました。



他団体との連携事業では、夢の島競技場で年間数試合開催されるJ3公式戦のFC東京U-23のホームゲームでは、試合前のブラインドサッカー体験会や女子サッカー、オリパラ関連イベントやボールボーイなどの協力を行っています。文部科学大臣賞を

受けたことを励みに、本連盟は、これからもサッカー一競技の普及により一層の努力をしております。

テニス連盟

テニス連盟副理事長兼都民大会総監督
向高 博志

平成 29 年度の都民大会において男子が3位、女子が初戦敗退という結果でした。

女子は近年上位の常連だっただけに残念な結果に終わり、選手も次年度に向けて気持ちを切り替えております。男子はチームメンバーの内半分以上が初出場でした。最初は大会の雰囲気にもまれ気味でしたが勝ち上がるにつれチームの雰囲気も良くなり又地元江東区開催ということで多くの方々の応援もあり、最高の状態で勝ち進んでいきました。優勝は逃しましたが選手たちは次年度必ず笑顔で終われると確信しております。



ハンドボール連盟

理事長 高橋 良久

ハンドボールはゴールキーパー1名、フィールドプレー6名の計7名が攻守の切り替え早く、攻防するゲームである。走・跳・投のバランスのとれたスポーツであり、ヨーロッパでは人気のあるスポーツの一つです。しかし、日本ではサッカー、バスケットボールに比べると、普及はしていない。その中で、江東区では昭和60年代には、区立中学校10校にハンドボール部が設置され、東京都、関東大会、全国大会で区内中学校が活躍し、江東区ではハンドボールがメジャーな競技であった。しかしその後、区内中学校の顧問教諭の多くが区外へ異動となり、ハンドボール部が区内にゼロという時代が続き、ハンドボール協会にとっては、苦しい時代が続いた。この苦しい時代に大島中学校の卒業生が母体となり結成した。「大島会」は、東京都クラブリーグで活躍するとともに、都民大会で上位に入るなど、江東区のハンドボール熱を常に灯し続けた。



平成24年、区内在住のミュンヘンオリンピック日本代表の佐々木健一選手を有明中学校がコーチに招いて、ハンドボール部が創部し、江東区のハンドボールが復活のきっかけとなった。平成29年には小学生の江東ハンドボールクラブを母体として亀戸中学校にハンドボール部が創部した。今後は、有明、亀戸中学校のハンドボール部を本協会がバックアップして、ハンドボールの普及・発展をさせていくことが使命と考えている。2020年東京オリンピックまでにハンドボールの認知度を高めて生きたい。



ソフトボール連盟

副会長 岩城 信一

年間 168 試合の真剣勝負！

ソフトボール連盟には地域、会社、PTA 等の 50 以上のチームが加盟し、昨年は新砂運動場と潮見球場を会場に 3 大会(春・秋季大会、区民大会)で 168 試合行いました。試合は公式ルールと公認審判員によって行われ、都大会等への出場権を懸けた真剣勝負。試合後はエールを交換してお互いの健闘を讃え合います。ソフトボールは年齢・体力に関係なく楽しむことができます。「近くのチームを紹介してほしい」という問い合わせにも応じていますので、興味のある方は当連盟のホームページ (<http://kotosoftball.web.fc2.com>) からご連絡ください。



ソフトテニス連盟

理事長 三ツ川 清

都民体育大会、東京都支部大会への選手派遣とともにソフトテニス連盟主催の各種大会にも多くの選手が出場し、素晴らしい成績をあげています。とりわけ、平成 27 年度都民体育大会では男子が見事優勝し、28 年度も 4 位に入賞いたしました。昨年は、東京生涯スポーツ大会において 4 位入賞をいたしました。



このような東京都レベルで活躍できる選手の育成のためにも、次世代を担うジュニアの育成強化に今後とも努めてまいります。都体協のジュニア育成事業や区の少年少女スポーツ教室の内容充実をはかり、中学生レベルで都や全国で活躍できる選手の育成を目指しています。



深川第八中学校 水泳部

自由形 50m 16位 25.09 清水真宏
 自由形 100m 30位 54.88 清水真宏
 亀戸中学校 陸上部 走り高跳び 兵郷星名
 大島中学校 水泳部

平泳ぎ 100m 優勝 1.10.81 黒部和花
 第二南砂中学校 女子体操部 女子団体 8位

オリンピック・パラリンピック教育

今年度のオリンピック・パラリンピック教育として亀戸中学校では障がい者スポーツを取り上げ、学区在住の元Jリーガー深川友貴さんの協力を得て、障がい者サッカー体験を11月7日(火)に全校で実施した。当日は脳性麻痺7人制サッカー(CPサッカー)2014年仁川(インチョン)アジア大会3位の高橋弘人選手の参加もあった。



中学校体育連盟

理事長 田中 利幸

平成29年度全国大会出場

深川第二中学校 剣道部 女子個人戦 川島萌
 深川第三中学校 水泳部
 個人200mメドレー 21位 2:23.62 有川萌結
 個人400mメドレー 12位 4:56.66 有川萌結
 400mメドレーリレー 19位 4:35.75
 松井・主藤・飯島・有川
 深川第四中学校 水泳部
 平泳ぎ100m 10位 1:12.55 阿部恋奈

聴覚障害サッカー（デフサッカー）については簡単な手話と喋らないでコンタクトを取り合うボールパスが行われた。手話では自己紹介や生徒達がよく使う「ヤバイ」という表現の手話から入り、生徒の親しみやすい内容にするなどの工夫がされていた。CPサッカーについてはジュニアと大人の世界大会のDVD視聴や片足の膝下を片手で掴み、動きを制限した中で行うボールゲームの体験を行った。講演の最後には講師による狙ってクロスバーに当てる実演もあり、大盛況で幕を閉じた。学校としてより深い学びになればと考え、講師の協力もあり、2クラスで1時間、計6時間の講演、一緒に食べる給食や昼のサッカー交流等が行われた。実施後の感想の多くに、腕で膝下をつかみながら行ういつもと違う不自由なサッカーを通して、障がい者への関わり方を考え直す前向きな感想が多く見受けられ、全てが大成功で終わることができた。



江東区観光キャラクター
コトニちゃん

編集後記

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

このことに合わせて江東区内小中学校では、オリンピック・パラリンピック教育を進めており、こどもテーマとして、見つめよう！「自分」伝えよう！「江東・日本」知ろう！「世界・ともだち」関わろう！「Sports & Supports」を合言葉に意識して取り組んでいます。

これらの取り組みを通して自ら進んで大会を支える江東区民の一人であってほしいと心から願っています。

普及指導委員会 田中 利幸